

# スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



レスリング成男  
グレコローマン77kg級  
櫻庭 功大 選手  
(自衛隊体育学校)



カヌースラローム  
成男 佐々木将汰 選手  
成女 三島 廉 選手  
(万六建設株式会社)



第77回 国民体育大会

いちご一会とちぎ国体 優勝者



陸上競技 少男共通800m  
大野 聖登 選手  
(秋田工業高校)



バスケットボール成男  
チーム秋田 \*4連覇  
(JR東日本株式会社)



ボート成女 ダブルスカル  
五十嵐いづみ 選手(立教大学)・茂内さくら 選手(早稲田大学)



[写真提供：秋田魁新報社]

## contents

|  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| ◎栃木国体2022 秋田県選手団 入賞者一覧 …… 3                | ◎『2022アスリート支援・企業セミナー』開催報告……12        |
| ◎栃木国体2022 優勝者インタビュー …… 4                   | ◎総合型地域スポーツクラブ………14                   |
| ◎第77回国民体育大会秋田県選手団報告会……… 6                  | ◎令和4年度秋田県スポーツ少年団市町村本部長会議…15          |
| ◎特別国民体育大会冬季大会に向けて……… 7                     | ◎オフィシャルサポーター・賛助会員・<br>県内スポーツの主なできごと・ |
| ◎高校スポーツ2022 いざ、冬の陣……… 8                    | 令和4年度 関係団体創立記念行事一覧………16              |
| ◎期待のジュニアアスリート vol.13 …… 10                 | ◎秋田県スポーツ協会創立100周年記念事業について・           |
| ◎令和4年度秋田県中学生強化選手育成事業<br>中・高連携強化プロジェクト………11 | 編集後記………17                            |

オフィシャルパートナー





カヌーシラローム  
成年女子  
準優勝 佐藤彩乃選手  
(県カヌー協会)



レスリング少年男子  
準優勝 伊藤洋行選手  
(秋田商業高)



陸上競技成年女子  
準優勝 小館充華選手  
(染めQテクノロジ)



自転車少年男子  
3位 池田周雅選手 (左)  
3位 池田充規選手 (右)  
(六郷高)



剣道少年女子  
準優勝 チーム秋田



レスリング少年男子  
3位 織山昭成選手  
(秋田商業高)



陸上少年男子B  
準優勝 大信田凌生選手  
(横手清陵学院高)



レスリング成年男子  
3位 安田拓斗選手  
(県スポーツ協会)



ウェイトリフティング少年男子  
4位 鈴木響選手  
(金足農業高)

[写真提供: 秋田魁新報社・競技団体関係者]



# いちご一会とちぎ国体

第77回 国民体育大会

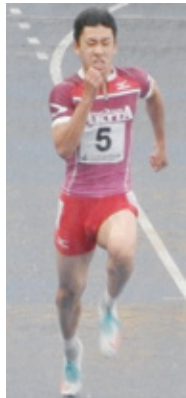
夢を感動へ。感動を未来へ。2022



水泳(競泳)少年女子B  
4位 高橋凛選手  
(秋田北高)



レスリング女子  
5位 岩澤希羽選手  
(秋田ノーザンハピネッツ)



陸上競技少年男子A  
5位 大友樹選手  
(秋田令和高)



ラグビーフットボール  
少年男子  
5位 チーム秋田



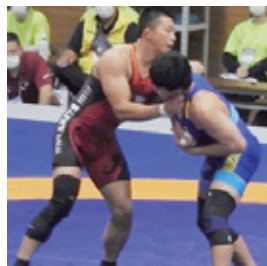
バスケットボール成年女子  
5位 チーム秋田



レスリング少年男子  
5位 加成真之介選手  
(秋田商業高)



相撲少年男子  
5位※個人戦 田子麻聖選手  
(秋田北鷹高)



レスリング成年男子  
5位 門間順輝選手 (左)  
(秋田市消防本部)

剣道少年男子  
5位 チーム秋田





# 栃木国体2022 秋田県選手団 入賞者一覧

| No. | 順位 | 競技名         | 種別   | 種目                | 氏名     | 所属              | 点数   |
|-----|----|-------------|------|-------------------|--------|-----------------|------|
| 1   | 1位 | バスケットボール    | 成男   |                   |        | チーム秋田           | 40   |
| 2   | 1位 | ボート         | 成女   | ダブルスカル            |        | チーム秋田           | 24   |
| 3   | 1位 | レスリング       | 成男   | グレコローマンスタイル77kg級  | 櫻庭 功大  | 自衛隊体育学校         | 8    |
| 4   | 1位 | 陸上競技        | 少男共通 | 800m              | 大野 聖登  | 秋田工業高校          | 8    |
| 5   | 1位 | カヌーSL       | 成男   | カナディアンシングル (25G)  | 佐々木 将汰 | 万六建設株式会社        | 8    |
| 6   | 1位 | カヌーSL       | 成男   | カナディアンシングル (15G)  | 佐々木 将汰 | 万六建設株式会社        | 8    |
| 7   | 1位 | カヌーSL       | 成女   | カヤックシングル (15G)    | 三島 廉   | 万六建設株式会社        | 8    |
| 8   | 2位 | 剣道          | 少女   |                   |        | チーム秋田           | 35   |
| 9   | 2位 | レスリング       | 少男   | フリースタイル55kg級      | 伊藤 洋行  | 秋田商業高校          | 7    |
| 10  | 2位 | 陸上競技        | 成女   | ハンマー投             | 小舘 充華  | 株式会社染めQテクノロジー   | 7    |
| 11  | 2位 | 陸上競技        | 少男B  | 円盤投               | 大信田 凌生 | 横手清陵学院高校        | 7    |
| 12  | 2位 | カヌーSL       | 成女   | カヤックシングル (25G)    | 三島 廉   | 万六建設株式会社        | 7    |
| 13  | 2位 | カヌーSL       | 成女   | カナディアンシングル (25G)  | 佐藤 彩乃  | 秋田県カヌー協会        | 7    |
| 14  | 2位 | カヌーSL       | 成女   | カナディアンシングル (15G)  | 佐藤 彩乃  | 秋田県カヌー協会        | 7    |
| 15  | 3位 | 自転車         | 少男   | スクラッチ6km          | 池田 周雅  | 六郷高校            | 6    |
| 16  | 3位 | 自転車         | 少男   | 1kmタイムトライアル       | 池田 充規  | 六郷高校            | 6    |
| 17  | 3位 | レスリング       | 成男   | フリースタイル125kg級     | 安田 拓斗  | 秋田県スポーツ協会       | 5.5  |
| 18  | 3位 | レスリング       | 少男   | グレコローマンスタイル125kg級 | 織山 昭成  | 秋田商業高校          | 5.5  |
| 19  | 4位 | 水泳(競泳)      | 少女B  | 自由形50m            | 高橋 凜   | 秋田北高校           | 5    |
| 20  | 4位 | ウエイトリフティング  | 少男   | 67kg級クリーン&ジャーク    | 鈴木 響   | 金足農業高校          | 5    |
| 21  | 5位 | 相撲          | 少男   | 個人決勝トーナメント        | 田子 麻聖  | 秋田北鷹高校          | ※    |
| 22  | 5位 | ラグビーフットボール  | 少男   |                   |        | チーム秋田           | 28   |
| 23  | 5位 | バスケットボール    | 成女   |                   |        | チーム秋田           | 12.5 |
| 24  | 5位 | 剣道          | 少男   |                   |        | チーム秋田           | 12.5 |
| 25  | 5位 | 水泳(競泳)      | 少女B  | 自由形100m           | 高橋 凜   | 秋田北高校           | 4    |
| 26  | 5位 | 陸上競技        | 少男A  | 100m              | 大友 樹   | 秋田令和高校          | 4    |
| 27  | 5位 | レスリング       | 成男   | フリースタイル97kg級      | 門間 順輝  | 秋田市消防本部         | 2.5  |
| 28  | 5位 | レスリング       | 女子   | フリースタイル62kg級      | 岩澤 希羽  | 秋田ノーザンハピネッツ株式会社 | 2.5  |
| 29  | 5位 | レスリング       | 少男   | グレコローマンスタイル65kg級  | 加成 真之介 | 秋田商業高校          | 2.5  |
| 30  | 6位 | フェンシング      | 成女   | フルーレ              |        | チーム秋田           | 9    |
| 31  | 6位 | 水泳(競泳)      | 少男B  | 背泳ぎ100m           | 白鳥 航生  | 能代松陽高校          | 3    |
| 32  | 6位 | ボート         | 少女   | シングルスカル           | 山崎 優子  | 本荘高校            | 3    |
| 33  | 6位 | ウエイトリフティング  | 少男   | +102kg級スナッチ       | 小玉 颯太  | 金足農業高校          | 3    |
| 34  | 7位 | ラグビーフットボール  | 成男   |                   |        | チーム秋田           | 7.5  |
| 35  | 7位 | バレーボール(6人制) | 成男   |                   |        | チーム秋田           | 7.5  |
| 36  | 7位 | フェンシング      | 少男   | フルーレ              |        | チーム秋田           | 6    |
| 37  | 7位 | 水泳(競泳)      | 少男B  | 個人メドレー200m        | 鈴木 大斗  | 秋田南高校           | 2    |
| 38  | 7位 | ボート         | 少男   | シングルスカル           | 佐藤 圭翼  | 本荘高校            | 2    |
| 39  | 7位 | ウエイトリフティング  | 少男   | 67kg級スナッチ         | 鈴木 響   | 金足農業高校          | 2    |
| 40  | 8位 | 水泳(競泳)      | 成男   | バタフライ100m         | 三浦 心   | 株式会社エイジェック      | 1    |
| 41  | 8位 | 水泳(競泳)      | 成女   | 個人メドレー200m        | 大和 茉里亜 | 東海大学            | 1    |
| 42  | 8位 | 水泳(競泳)      | 少男B  | 自由形400m           | 白鳥 魁生  | 能代松陽高校          | 1    |
| 43  | 8位 | 陸上競技        | 少男A  | 走幅跳               | 加藤 想大  | 秋田高校            | 1    |
| 44  | 8位 | ライフル射撃      | 少男   | ビーム・ライフル立射60発     | 榎 春音   | 秋田令和高校          | 1    |
| 45  | 8位 | ウエイトリフティング  | 少男   | 102kg級クリーン&ジャーク   | 小野 彩人  | 金足農業高校          | 1    |
| 46  | 8位 | ウエイトリフティング  | 少男   | 102kg級スナッチ        | 小野 彩人  | 金足農業高校          | 1    |

※相撲個人入賞は天皇杯得点に含まれない。



# 栃木国体2022 優勝者インタビュー

## 祝4連覇!!!!

バスケットボール競技  
成年男子  
(J R東日本株式会社秋田支社)



黒政成広監督



森知史選手

### 1 栃木国体について(決勝で意識したこと・優勝しての感想)

(黒政) 1回戦以外はすべて相手にリードを許し、追う展開ばかりでした。保守的な姿勢で自分たちらしさを全く表現できていなかったため、「決勝だけは大好きなバスケットを楽しもう」と選手をコートに送り出しました。今大会は、苦しい展開ばかりが続く大会でしたが、その状況下で選手は勝負所をしっかりと感じ、把握した上で、自身の役割を遂行してくれました。またひとつ、チームとしてレベルアップできたと思います。

(森) 終始劣勢の試合展開となりましたが、チーム全員が「絶対に自分たちのペースになる」ことを信じ、決勝という大舞台だからこそ「楽しく」プレーするように意識しました。

国体4連覇に辿り着くまで、多くの方からサポートをしていただき、そのご声援がチームの大きな力となり、試合終盤の大逆転に繋がったのだと感じています。嬉しさと感謝の気持ちで一杯です。

### 2 日常生活・普段の練習で意識していること

(黒政) 勝ちたい。という思いから失敗を恐れ、無意識のうちにチャレンジングな姿勢を避けてしまいます。

失敗したらどうしよう。負けたらどうしよう。失敗は恐怖が伴います。でもそれは学びのチャンスを逃してきたことになります。失敗体験の先に学びがある。今はそういう気持ちで、できる限り失敗を恐れず新しいことにチャレンジしていこうと思っています。

(森) 日々の練習を常に高い強度で行うように意識し、試合で躍動感のあるバスケットが体現できるように努めています。また、チームの勝利に向けて選手1人1人が自分の役割を全うし、最大限のパフォーマンスを発揮できるよう練習を重ねています。

### 3 今後の抱負・挑戦したいこと・将来像について

(黒政) 国体5連覇を目指します。試合に勝つことで、地元秋田を元気にします。私たちのチームコンセプトである『攻撃的なディフェンスと躍動感ある走るバスケット』を体現するため、ハードな練習、地道な練習を大切に、コーチ、選手ともに心をひとつに取り組みでいきます。また、選手の人間の成長とパフォーマンスの発達を支援して、選手を中心に関わることすべての人が幸福になることを目指します。

(森) 成年男子初となる「国体5連覇」を目指し、今年度以上のチーム作りに取り組み、対戦相手に「絶対的な強さ」をもって勝利したいです。秋田らしい「攻撃的なディフェンス」や「走るバスケット」で見ている人がワクワクするような試合を展開し、地域の皆さまから応援していただけるチームを目指していきたいです。

### 4 将来を担う秋田の子どもたちへ

(黒政) 可能性は無限です。失敗を恐れず、ワクワク・ドキドキしながらたくさんチャレンジしてください。失敗した分だけ成長できるはずですよ。

(森) バスケットボールに限らず、「スポーツの持つ力」は言葉だけでは表せない側面があると思います。勝敗だけでなく、その結果に辿り着くまでの努力や苦労が「かけがえの無い経験」となり、これからの人生で成長していくための大きな原動力になります。必死に努力を続けているその「毎日」は、本当に貴重で素晴らしい時間なので、私たちと一緒に毎日成長できるように頑張りましょう!!

## インターハイと合わせ3冠!!

陸上競技  
少年男子共通 800m  
大野聖登選手  
(秋田工業高校)



### 1 栃木国体について(決勝で意識したこと・優勝しての感想)

気温が低く、雨も降っておりコンディションが良くないレースでした。1日目が想像よりも速い展開だったので前半で遅れてしまいましたが、焦らず自分のレースをしようと思っ掛け残り300mからのロングスパートで逃げ切り優勝することができました。インターハイ2冠からのプレッシャーもありましたが、高橋監督とのトラックラストレースを良い形で終えることができました。

### 2 日常生活・普段の練習で意識していること

普段の生活では、ONとOFFの切り替えを心掛けています。練習では、諦めなくなるような

ハードな練習もありますが、我慢して最後までやり通すことを意識しています。休日は、思いっきり自分の好きなことをして最大限リフレッシュしています。また、今シーズンは怪我が多かったため、お風呂上がりのケアは毎日しっかり行っています。

### 3 今後の抱負・挑戦したいこと・将来像について

大学進学後は距離を伸ばしていきたいと考えています。トラック種目では1500m・5000mを中心に、日本のトップを目指します。そして、世界でも戦える選手になれるよう努力します。また、大学駅伝への憧れもあるので、三大駅伝に出走し歴史を変えられるような選手になれるよう、日々頑張っていきたいと思います。

### 4 将来を担う秋田の後輩たちへ

私は、中学校の全国大会に出場したものの、勝負ができずに終わりました。しかし、高校に入ってから夢を語るだけでなく、明確な目標を掲げて日々の積み重ねを大切にすることの重要性を高橋監督から幾度となく指導され、結果を出すことができました。「可能性は無限大。方法は永遠の海。」自分を信じ、自分にあった方法で自分自身を裏切ることの無い努力をしていけば、いつか絶対に報われます。秋田から世界へ、一緒に頑張っていきたいと思います。

## スラローム2冠!!

カヌー競技  
成年男子 スラローム15G・25G  
佐々木将汰選手  
(万六建設株式会社)



### 1 栃木国体について(決勝で意識したこと・優勝しての感想)

優勝は大前提と考えていて、自分の今出来る最高のパフォーマンスをしたいと思っていました。1日目の25ゲートでは自分の中で最低限の漕ぎで全く満足できる漕ぎではなかったため、2日目の15ゲートはより一層集中してスタートしました。その結果タイムも内容も満足できる結果だったと思います。秋田県を代表して国体に出場し優勝出来た事は自分自身とても嬉しく、また所属先である万六建設株式会社に良い報告が出来たので良かったです。

### 2 日常生活・普段の練習で意識していること

普段の練習から、レースよりもプレッシャーをかけて練習しています。そのプレッシャー

の中で常に同じパフォーマンスが出せていればレースでも同じ事が出来ると思うので、自分の中では一番意識している事です。逆に日常生活では休む時はしっかり休み遊ぶ時は思いっきり遊ぶようにしています。競技中との切り替えが大事だと思います。

### 3 今後の抱負・挑戦したいこと・将来像について

来年からパリ五輪の予選が始まるので、五輪出場権を獲得出来るよう、自分のカヌーを更に極めてやり残した事がないよう全身全霊でカヌーに取り組ん



できたいと思います。最終的には自分が経験し培ってきた事をこの先の秋田の将来を担う子供達に繋げていきたいです。

**4 将来を担う秋田の子どもたちへ**

何事も常識にとらわれず常に新しいやり方にチャレンジしてほしいです。僕は練習時、常に新しいやり方を試して失敗や成功を繰り返しています、新しいチャレンジをして失敗や成功を繰り返しながら進んだ先に明るい秋田があると思っています。秋田県の将来をよろしくお願いします。

**祝優勝！**  
ボート競技  
成年女子  
ダブルスカル




五十嵐いづみ選手 (立教大学)  
茂内さくら選手 (早稲田大学)

**1 栃木国体について (決勝で意識したこと・優勝しての感想)**

(五十嵐) まず、優勝することができて素直にとってもうれしい気持ちでいっぱいです。家族だけではなく、ニュースや新聞など様々な媒体で知ってくださった方々からたくさんのお祝いのお言葉をいただきました。ありがとうございました。予選、準決勝、決勝とレースをした中で決勝のレースが一番楽しかったと思います。準決勝をかなりギリギリで通過したので、その反省や予選の内容も踏まえて、決勝では最初から100%の力を全力で出していこうという話し合いをしました。

(茂内) 決勝では、一本一本着実に艇を伸ばすこと、スピードが落ちたらすぐ立て直すことを意識して臨みました。スタートで出遅れず、いい位置に付けられたこと

で終始落ち着いてレースを展開することができたと思います。優勝が決まった瞬間は、嬉しさと達成感が満たされました。たくさんの方が喜んでくださったことが何よりも嬉しかったです。

**2 日常生活・普段の練習で意識していること**

(五十嵐) 普段の練習では、「比べる」ということを大事にしています。練習メニューをこなして練習が終わりということではなく、自分の漕ぎと上手な人の漕ぎを比べ、どのようにしたら自分も結果を残すことができるのかということを考えながら水上の練習だけではなく、陸トレ、プラスアルファの自主練なども行っていました。

(茂内) 常にスピードを意識して練習していました。ただ、がむしゃらに頑張るわけではなく、メリハリのある漕ぎで効率よく艇を進めることを念頭に置いていました。また、クルーで積極的に意見を交わしながらクルーとして目指す漕ぎのイメージを擦り合わせていました。

**3 今後の抱負・挑戦したいこと・将来像について**

(五十嵐) 将来は、ボート競技で得た様々なことを活かして、社会人の一員として楽しむ心を忘れずに努力していきたいと思っています。ボート競技は国体を区切りに引退しましたが、先輩方や同期、後輩の今後の活躍を楽しみに、私も刺激をもらって成長していきたいです。

(茂内) 私は今年の国体を以てボート競技を引退します。競技を通じて出会った人やその繋がりを大事にしながら、今後も何らかの形でボートに関わっていきたいと考えています。また、将来的には秋田に戻り、豊かな自然に囲まれながら暮らしたいです。

**4 将来を担う秋田の子どもたちへ**

(五十嵐) 秋田の将来を担う世代の皆さんへお伝えしたいことは、楽しむ気持ちと感謝の心を忘れないでほしいということです。何事でも「楽しむ」という気持ちが根底にある限り、諦めないで努力し続けられると思いますし、自分にも周囲の人にも優しくなれると思います。そしてそんな周囲の方々への感謝の気持ちは絶対に持ってほしいと思います。

(茂内) 私は高校で偶然出会ったボート競技のおかげで貴重な経験をたくさんさせていただきました。皆さんも色々なことに挑戦して、ぜひ自分の好きなことや得意なこと、やりたいことなどを見つけてください。きっと応援してくれる人がいるはずですよ。

**祝優勝！**  
カヌー競技  
成年女子 スラローム15G  
三島廉選手  
(万六建設株式会社)



**1 栃木国体について (決勝で意識したこと・優勝しての感想)**

2020年3月に大学卒業後、東京都から秋田県に移住してきて初めて秋田県代表として出場しました。スタート前はとても緊張しました。1日目の25ゲートでは2位で悔しい思いしたので、2日目の15ゲートでは優勝することができてすごく嬉しかったと同時に秋田県に良い報告ができてホッとしました。

**2 日常生活・普段の練習で意識していること**

普段の練習で意識していることは、当たり前かもしれませんが全ての練習に対してしっかり集中することです。時間はたくさんあるわけではないので元気に体を動かせるうちに少しでも

成長できるように日々自分のカヌーについて考えています。また自分の体の調子についても怪我を予防するために寝る前には必ずストレッチをしています。


**3 今後の抱負・挑戦したいこと・将来像について**

現在は2024年パリオリンピック出場を目指してトレーニングを積んでいます。所属先である万六建設株式会社にはいつも手厚く応援・サポートして頂いている分、良い結果を出して恩返しができるように頑張りたいと思います。

**4 将来を担う秋田の子どもたちへ**

スポーツが好き、嫌い、これからやる、やりたいけど苦手、色々な子がいると思います。私は走るのが本当に苦手でしたが、水の上でやるカヌー競技では日本代表になれました。好き嫌い問わず色々なことにたくさん挑戦して自分に合ったスポーツや仕事の選択肢を増やせるように頑張ってみてください！

**祝優勝！**  
レスリング競技  
成年男子  
グレコローマンスタイル77kg級  
櫻庭功大選手  
(自衛隊体育学校)



**1 栃木国体について (決勝で意識したこと・優勝しての感想)**

国体で優勝をして、秋田県のたくさんの方々から支えてもらっているので秋田県に貢献できたことは嬉しいですし光栄だと思っています。決勝では、焦ることなく落ち着いて試合することを意識しました。状況を冷静に判断できていたのでよかったです。また自分の練習していることを出せたのでよかったです。

**2 日常生活・普段の練習で意識していること**

普段の練習では、自分の課題に取り組むことを意識してやっています。体力の強化、技術の回復、そしてスパarringでは、やってきていることを試し、ダメだったらまた課題として練習

するの繰り返しです。

**3 今後の抱負・挑戦したいこと・将来像について**

今後の抱負は、12月からパリオリンピックの選考が始まります。全日本選手権で優勝し世界選手権でオリンピックの出場枠を取れるように頑張ります。

**4 将来を担う秋田の子どもたちへ**

たくさん挑戦して失敗や成功を経験して自分の糧にしてください。その糧がいつか自分の役に立つ時が来ると思います！「今」を全力で楽しんで頑張ってください！



## 第77回国民体育大会秋田県選手団報告会

令和4年11月28日（月）、「第77回国民体育大会秋田県選手団報告会」を開催しました。本県強化策検討部会アドバイザー高橋義雄様（筑波大学大学院准教授）と阿久根謙司様（東京ガスケミカル株式会社取締役常務執行役員）にもご出席頂き、参加した各競技団体役員及び強化担当者等約90名が今国体の振り返りと次の国体に向けて競技団体の垣根を越えて課題を共有し、課題解決への意見交換などを行いました。

報告会では、本会会長鶴田有司から、コロナ禍初の国体開催となった鹿角国体に関わった全ての方々への感謝がありました。また、鹿角・栃木国体にて活躍した選手への敬意と、サポートした競技団体関係者の方々への感謝、今後も県、県教育委員会の協力を得て競技団体と一体となって競技力向上に取り組む決意の言葉がありました。

また、来賓として秋田県観光文化スポーツ部スポーツ振興課課長米田裕之様より「県選手の活躍は県民に感動と勇気を、次世代のジュニア選手には夢と希望を与えるとともに、秋田を元気にしてくれるものである」と挨拶を頂きました。

県教育庁保健体育課課長寺田潤様からは「各競技団体の地道な努力の積み重ねが実を結んだ結果であり、今後も高い目標を描き、たぎる情熱を持って引き続き強化に取り組んでいただきたい」と挨拶を頂きました。

続いて、本会競技力向上対策課課長齋藤から、結果概要について報告がありました。「天皇杯順位は、44位から31位へ大きく順位を伸ばし、前回の茨城大会では最下位となった少年種別の順位は31位へと躍進した。その理由として〔チームAKITA強化・育成システム〕〔チームAKITAスタートアップ支援事業〕を契機とした県全体の強化により、少年種別の県内競争意識が向上したことで競技力向上に影響したこと、成年種別との積極的な交流によって強化の一体感が増したことを要因として挙げました。同時に課題としては、県全体の強化体制のさらなる推進と指導者の指導力向上が重要である」などを挙げました。

最後に総監督を務めた本会副会長田口将より、「競技団体含め選手の頑張りはもちろん本部・スタッフ含めチーム秋田で戦えたという手応えを十分感じることができた栃木国体であった」という総括の挨拶がありました。

国体戦略ミーティングでは、「競技団体主導による県全体を視野に入れた強化・普及について」を大きなテーマとしました。

第一部パネルディスカッションでは、パネリストと

して、陸上競技協会石川傑惣様、水泳連盟齋藤敦様、ラグビーフットボール協会伊東真吾様そして、バスケットボール協会菊池喜晴様からお話しを伺いました。石川様から「県内の指導者が手の内をさらして選手強化にあたっている」、齋藤様から「強化合宿のデータは、各校・クラブの指導者と共有し指導にあたる体制をとっている」、伊東様から「経験が大切。様々な経験が出来る場となるようにしている」、菊池様から「アドバイザーコーチ招聘を活用し、特別な環境となるようにしている」と、各競技団体の強化を考えるヒントが沢山ちりばめられたディスカッションとなりました。



第二部では、参加頂いた競技団体関係者の皆様による付箋紙法を用いたグループワークを行いました。代表報告では、サッカー協会渡辺英直様から「選手の切磋琢磨の場であり、指導者の情報共有の場として大きな効果がある」体操協会七尾真結様からは「普及の観点から、選手のシーズン制を取り入れた複数競技の参加を認めることが大切」という報告があがりました。各グループともに参加された皆様の積極的な意見交換により、今後の各競技団体における強化・普及について考える有意義な時間となりました。

ミーティング総括として、筑波大学大学院准教授 高橋義雄様から「アスリートセンターの考えを大切に、競技団体同士が協力し、お互いの知恵をプラスになるように働かせて欲しい、そのスタートとなる素晴らしい時間でした」とお話しいただき会を閉じました。





## 特別国民体育大会冬季大会に向けて

|                |   |  |
|----------------|---|--|
| 大会概要           | スケート競技会 ※スピードスケート                               | スキー競技会   |
| 開催地            | 八戸市 Y S アリーナ八戸                                  | 岩手県八幡平市<br>・安比高原スキー場<br>・矢神飛躍台<br>・田山クロスカントリーコース |
| 会期             | 2023年1月28日(土)～2月5日(日)<br>※スピード：1月30日(月)～2月2日(木) | 2023年2月17日(金)～20日(月)                             |
| テーマ<br>『スローガン』 | 未来へつなぐ八戸国体<br>『銀盤に 君の軌跡よ 花ひらけ』                  | いわて八幡平白銀国体<br>『白銀に 映えるみんなの 夢・未来』                 |



### 『スケート国体に向けて』 秋田県スケート連盟 島本 知克 (理事長)

秋田県スケート連盟では、県の事業であるAKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト、チームAKITA強化・育成システムに参加し、秋田国体後の強化に取り組んできた。

発掘プロジェクトでのタレントが高校生となった昨年、チームAKITA強化・育成システムにより強化事業を積極的に行うとともに、他県への合宿遠征も頻繁に行うことで、全国大会での入賞者を複数出すなど、ここ数年の強化事業の成果が現れてきた。

今年度は、県スポーツ科学センターのハイパフォーマンス事業を活用し、公認スポーツ栄養士による栄養研修会を2回、北海道から指導者を招聘し強化練習会を行うなど、多方面から新たなサポートを得ることができた。また、日本スケート連盟の地域活性化事業により、日本スケート連盟のトレーナーにコンディショニングチェックやウェイトトレーニング講習会を通して、日本のトップ選手の情報なども得ることができた。

日常のトレーニングにおいても、県スポーツ科学センターのフィジカルトレーニングアドバイザーによる年間を通じたサポート、アスリート診断による測定などにも取り組んだ。

競技力を高めるためには、その競技そのものへのアプローチだけではなく、様々な角度からの取り組みが必要と考える。スピードスケートにおけるスケート技術を高めるのと同時に、栄養面、心理面を含めた総合力を高めることが結果につながるはずである。そのためには選手個人の努力はもちろん、それを裏で支える競技団体も力をつけていくことが求められる。

今年度のスケート国体は、数年前から合宿や遠征を行っている青森県八戸市のY S アリーナで行われる。第二のホームリンクと言ってもいい馴染みのリンクで、自らの力を存分に発揮してくれることを期待したい。



### 『リベンジ』 秋田県スキー連盟 畠山 芳彦 (競技本部長)

2026年イタリア ミラノ・コンティナダンペッツォ オリンピックに向けて全日本チームも北京オリンピックが終わると同時に世代交代を各セクション進めて今シーズンスタートした。我々秋田県スキー連盟も同様で、選手団を牽引してきた湊祐介、向川桜子、石垣寿美子選手の動向が目される中、彼らの背中を追う若手選手に上手くバトンタッチ出来るか非常に難しい。

若手選手を見つめた時、先に浮ぶのがコンバインドの木村幸大、クロスカントリーの田中聖士の二人になる。木村は、ミラノ・コンティナダンペッツォ オリンピックを目指してワールドカップを転戦し、国体の日程に合わせる事が難しい。となれば、田中が主軸で秋田県チームを引っ張って頑張ってもらわなければならない。

強豪チームに対し選手層の薄い秋田県チームにとって「いわて八幡平白銀国体」を見据えた時、非常に厳しいものがある。第77回美の国あきた鹿角国体で不振であったアルペンチームには、必死の覚悟で頑張ってもらわなければならない。その為に、海外遠征を決行し硬いバーン・柔らかいバーン・急斜面を克服して帰国することに期待している。

種目別に期待する選手を挙げると、クロスカントリーでは 少年男子の古田柊斗、遠藤佳人、藤本孝輔。少年女子では畠山香恋。成年女子は本田千佳、山田智子。ジャンプ・コンバインドでは少年男子の成田絆。成年男子Bの馬淵源。成年男子Aの宮崎敬太。アルペンでは少年男子の鎌田宇朗、遠藤暢人。成年女子Aの石塚結。成年女子Bの岡本乃絵の各選手である。

各セクションがオール秋田県チームとして、第77回美の国あきた鹿角国体で天皇杯・皇后杯総合4位に甘んじた悔しさをバネに、「いわて八幡平白銀国体」で雪辱を果たし、素晴らしい結果報告が出来る様にチーム一丸となって立ち向かいたい。



# 高校スポーツ2022

# いざ、冬の陣



駅伝競走男子  
秋田工業高校（10年連続28回目）

主将 <sup>ふじもと</sup> 藤本 <sup>しゅんや</sup> 駿世

私達、秋田工業高校陸上競技部は、この度10年連続28回目の全国高等学校駅伝競走大会に出場します。昨年の都大路では入賞に届かず9位という悔しさの残る結果となりました。今年はその悔しさを胸に一年を通して、今大会のために日々の練習や各種大会に臨んできました。その陰には常に支えてくださる方々の姿があり、チーム一同心から感謝しております。

今年は『3位入賞』という目標を掲げています。チーム全員がこの目標に向かって、高い意識の中で日常生活と練習に取り組み、残された一日一日を大切に精進していきたいと思います。そして、日頃から応援して下さる方々への感謝の結果として表すことができるように、秋田県の代表として、自覚と責任を持って、相手への挑戦そして自分への挑戦を忘れることなくレースに挑んでいきます。私達、秋田工業陸上競技部の応援をよろしくお願いします。



駅伝競走女子  
大曲高校（2年連続8回目）

主将 <sup>かしわや</sup> 柏谷 <sup>せら</sup> 星来

大曲高校駅伝チームは、先月行われた全国高等学校駅伝競走大会秋田県予選会において優勝を果たし全国駅伝大会出場を果たすことができました。

昨年の全国大会では、県予選よりもタイムを落とし悔しい大会となったため、「都大路」でのリベンジを掲げ、新チームがスタートしました。

しかし、今年もコロナウイルス感染拡大の影響もあり、部員の足並みもそろわず、計画通りにできないことが多く、歯がゆく思うこともありました。そんな中、秋田県予選会ではチームが一丸となり、部員一人一人が役割を果たした結果だったこともあり、とても嬉しく思います。

全国大会は、大変厳しいレース展開が予想されます。現在は、その差を少しでも短縮するために、日々の練習を大切に取り組んでいます。

これまでたくさんの方々から大きな力をいただいた分、今大会は感謝の気持ちを糧に込め、秋田県代表として、積極的な走りです大路という夢舞台を精一杯力走します。



バレーボール男子  
雄物川高校（28年連続28回目）

主将 <sup>たきざわ</sup> 滝澤 <sup>だいき</sup> 大希

私たち雄物川高校男子バレーボール部は、1月4日から東京体育館で開催される春の高校バレーに出場します。今年度は、クイックを多く使ったテンポの速いバレーに切り替え、日々の練習に取り組んでいます。インターハイでは予選リーグで敗退し、ミニ国体では1勝したのですがあともう1歩というところで栃木国体への出場権を逃してしまいとても悔しい思いをしました。コロナ禍がまだ続いている中ですが、春高バレーが開催されることに感謝してプレーしたいと思います。3年生にとっては最後の大会なので3年生が中心となり、家族、地域の方々、また応援して下さる方々へ伝統である「執念のバレー」で感動をお届けし、恩返しができるようプレーします。1回戦は兵庫県代表の市立尼崎高校との対戦です。1戦1戦全力で戦い抜き、目標である「ベスト4」を必ず達成するためにチーム一丸となって頑張ります。応援よろしくお祈りします。



バレーボール女子  
秋田令和高校（※12年ぶり2回目）

※旧秋田和洋女子高校の出場回数含む

主将 <sup>あらや</sup> 荒谷 <sup>みき</sup> 美稀

本校にとっては12年ぶり2度目の春高バレー全国大会への切符。ライバル校に破れ、あと一歩のところまで目標を達成することができず涙を呑んだインターハイ予選。これまでの4ヶ月半、私達は悔しさを忘れることなく自分達の技術面、精神面を1から見直し、弱い部分と向き合ってきました。県予選では、大事な場面で勝負強さを発揮する精神力、ボールに食らいつき粘り強く繋ぐ守備力を発揮し、苦しい展開になっても最後まで目標を見失わず戦い抜き、念願の全国への切符を手にすることができました。

私達にとって県予選はあくまでも通過点に過ぎません。全国大会に向けて新たに「ベスト8」という目標を掲げ、現状に満足しないことやチームの一体感を高めることに意識を置き、さらに高みを目指します。応援して下さる全ての方々への感謝を忘れず、全力でプレーする姿勢や結果で恩返しをしたいと思います。チーム一丸となり一戦一戦勝利に尽くします。応援よろしくお祈りします。







- ・全国高等学校駅伝競走大会 12/25
- ・全国高等学校バスケットボール選手権大会 12/23～29
- ・全国高等学校ラグビーフットボール大会 12/27～1/7
- ・全国高等学校サッカー選手権大会 12/28～1/9
- ・全日本バレーボール高等学校選手権大会 1/4～8

- 京都府 たけびしスタジアム京都
- 東京都 東京体育館/大田区総合体育館
- 大阪府 東大阪市花園ラグビー場
- 東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 国立競技場 ほか
- 東京都 東京体育館



**バスケットボール男子**  
**能代科学技術高校（※5年連続51回目）**  
 ※旧能代工業高校の出場回数含む  
**主将 相原 一生**

私たち、能代科学技術高校バスケットボール部は、県予選を突破し、ウインターカップの出場権を勝ち取る事ができました。

インターハイでは初戦で自分たちの力を発揮できないまま試合が進み、1回戦で敗れてしまいました。その結果をバネに、県外の強豪チームと試合を重ねチーム力をつけていく事ができたと思っています。県予選では、チームで目指している激しいディフェンスからの速攻を1試合とおしてやり続ける事ができ、優勝する事ができました。

私たちが入学してからウインターカップでは1回戦敗退が続いています。今年は3年間の集大成として、全国大会ベスト8、東京体育館のメインコートにたってプレーする事を目標に掲げ、日々の練習に励んでいます。

先輩方の思いを胸に、能代市をはじめ、学校統合後も変わらず支援し続けてくださる皆様方への恩返しとなるように、最後まで諦めず、能代らしさを発揮し全力で戦ってきます。



**バスケットボール女子**  
**湯沢翔北高校（※2年ぶり22回目）**  
 ※旧湯沢北高校の出場回数含む  
**主将 小熊 桃華**

私たちは県予選大会で優勝を果たし、ウインターカップへの出場権を手にすることができました。昨年出場できなかった悔しさをエネルギーに変え、日本一というチームの目標を再確認して私たちはスタートしました。個々が高い意識を持ってフィジカルとスキルを高めるのは勿論のこと、約40名の部員全員が切磋琢磨しあい、日本一という目標に恥じない練習を心がけました。多くの不安や困難を克服しながら、チームが一つになる努力をしてきました。県予選での優勝がチームの結束力を一層高めてくれました。

ウインターカップでは、私たちの持ち味であるスピードを生かした試合を展開し、会場全体を「翔北色」に染めたいと思います。そして保護者をはじめ、私たちを支えてくださっているたくさんの方々に恩返ししたいと思います。挑戦することを恐れず、困難に立ち向かい、「翔北色」のプレーをお見せできるように全力で戦って参ります。



**サッカー**  
**ノースアジア大学明桜高校（※2年ぶり5回目）**  
 ※旧秋田経済法科大学附属高校の出場回数含む  
**主将 佐藤 拓海**

私たち明桜高校男子サッカー部は先日行われた第101回全国高校サッカー選手権大会秋田県大会で優勝し、全国大会への切符を手に入れることができました。去年の県大会決勝では悔しい思いをして自分達の代となりました。自分達は、新人戦・高校総体・選手権の県内三冠を目標に掲げ、チーム全員がその共通意識のもと、練習や生活を大切にして結果を出す事ができました。

全国大会は自分達のやってきたことを最大限に発揮できる素晴らしい場所です。その舞台でしっかりと勝ち切るために、チーム全員で掲げている全員攻撃・全員守備を日々の練習で徹底していけるように、選手同士が高めあう気持ちを大切にしていきたいと思います。そして、明桜らしいサッカーを全国大会で表現し、難しい試合でも勝ち抜いていきたいです。最後に、秋田県代表として応援していただく方々に感謝の気持ちを忘れずに、一戦必勝で戦いたいです。どうか応援よろしくお願いします。



**ラグビーフットボール**  
**秋田工業高校（3年連続70回目）**  
**主将 鈴木 颯太**

私達、秋田工業ラグビー部は、先日行われた第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会秋田県予選で優勝し、3年連続70回目の出場権を勝ち取りました。コロナ禍の中で昨年、一昨年と行くことができなかった菅平合宿に今年度は行くことができ、チームの強化ができました。優勝することができたのは多くの皆様の支援や応援があったからです。

今まで多くの試合を経験してきて感じたのは、強いチームこそプレッシャーの中でも本来の実力を発揮しているということです。全国大会という大舞台で、大きなプレッシャーがかかるのは当たり前です。その中で、いかに自分たちの持っているものを出せるかが勝利への鍵だと思います。残された時間の中で、それをテーマに良い準備をしていきたいと思えます。聖地花園で、秋工のラグビーを轟かせて来ます。応援よろしくお願いします。





# 期待のジュニアアスリート vol.13

秋田県中学生強化選手の中から、3名の選手に中学年代の競技の思い出や高校での目標について聞きました。



きば ゆうき  
千葉 裕基  
(生保内中 3年)  
カヌー競技

### Q1.競技の魅力・醍醐味は？

卓球の魅力はなんといっても試合に勝った喜びにあると思います。それ以外にも複雑なテクニックを使い分けたプレーも大きな魅力だと考えています。

### Q2.自身のストロングポイントは？

相手の居ないところに打つ等のコース分けを意識しながらプレーをすることで、自分の有利な試合展開に持っていきけることです。

### Q3.中学時代で競技を通じて学んだ事や成長できたことは？

努力することの大切さを改めて学びました。チームで同じ目標に向かって切磋琢磨し合うことで技術向上に繋げることが出来ました。

### Q4.中学校3年間の中で印象に残った大会はありますか？

印象に残った大会は国民体育大会です。高校生の中に混ざって戦い不安な事もありましたが、自分の力を試す良い経験となり自身の成長を感じることが出来たからです。

### Q5.競技を続けていく中で高校での明確な目標はありますか？

高校での明確な目標はインターハイ出場です。中総体では準優勝で終わってしまったので、優勝出来るように頑張りたいと思います。

### Q1.競技との出会い・きっかけは？

小さい時から叔父のカヌーの大会に応援に行き、叔父が表彰台に立つ姿をみて格好が良いと感じ、いつか自分もこうなりたいと思ったことが、カヌー競技を始めたきっかけです。

### Q2.競技の魅力・醍醐味は？

激しい川の流れの中でも、水の流れを読んで、自らのカヌーをコントロールして進んでいくことが競技の醍醐味だと思います。

### Q3.憧れの選手とその理由は？

佐々木翼選手と佐々木優選手です。叔父でもあり、コーチでもある二人は、今でもトップクラスのカヌー選手であり、また、翼選手のNHK杯7連覇は未だに破られたことがないことも憧れている理由です。

### Q4.中学校3年間の中で印象に残った大会はありますか？

富山で行われたジャパンカップです。大会当日は川の流れが激しく、なかなかカヌーを上手くコントロールすることが出来ず、もっと練習をしなければならぬと思い知らされた大会だったからです。

### Q5.競技を続けていく中で高校での明確な目標は？

まずは国民体育大会に出場することです。その上で入賞をすることを高校での目標としています。



うえた りせ  
植田 莉聖  
(城東中 3年)  
卓球競技

### Q1.日々の練習で意識していることや大切にしていることは？

速く走るために脚力のみを鍛えるのではなく、楽に綺麗なフォームで走ることが出来るように上半身の動きも意識しながら練習を行っています。

### Q2.自身のストロングポイントは？

私のストロングポイントはラストスパートで競り勝つところです。絶対に負けないという強い気持ちを持って勝負に挑んでいます。

### Q3.憧れの選手とその理由は？

大野聖登選手(秋田工業高校3年 陸上競技)です。自分と同じ800m、1500mの選手で、インターハイで二冠を達成しているからです。

### Q4.中学年代で競技を通じて学んだことや成長出来たことは？

一見地味に見える練習でも、しっかりと一つ一つの練習に真剣に取り組む、積み重ねていくことで、結果に表れたので、努力をし続ける大切さを学ぶことが出来ました。

### Q5.競技を続けていく中で高校での明確な目標はありますか？

高校一年生でも上級生に勝てる走りをして、東北大会で入賞することを目標として頑張っていきたいと考えています。



いとう だいぢ  
伊藤 大智  
(御所野学院中 3年)  
陸上競技



## 令和4年度秋田県中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト

### 第1弾 パフォーマンステスト～令和4年11月3日（木）開催～

国内外で活躍できるトップアスリートを育成するため、科学的根拠に基づいた運動能力テスト「パフォーマンステスト」を実施し、選手に自身の課題を自覚させ自発的な弱点克服への取り組みを促しました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上での開催となり、参加した秋田県中学生強化選手54名と、チームAKITA強化・育成システム指定競技の高校生選手41名が測定に臨みました。



体力測定（50m 8の字走）



メンタルテスト



トレーニングセッション

体力測定では、選手たちは自身の課題を把握するため、体力要素別に分類された9項目に取り組みました。当日の選手の動きを確認した広瀬統一講師（早稲田大学スポーツ科学学術院教授）からは、股関節の可動域の狭さを指摘され、即座にトレーニングセッションで股関節周りのストレッチやエクササイズの指導を受けました。また、メンタルテストも実施され、競技中の心理状態を確認し、渡瀬友斗講師（秋田県スポーツ科学センターメンタルトレーニングアドバイザー）から指導を受けました。参加した瀬川侑依選手（バスケットボール競技）は、「切り返しの動作を速くしなければいけないという課題がはっきりした。」と語り、岸野公祐選手（相撲競技）は、「自分のメンタルの状態を知ることが出来たので、今後の大会に活かしたい。」と意気込みを新たにしました。定期的な体力測定やメンタルテストは、現段階の競技力を可視化し、具体的な目標値の設定や、疲労及び怪我を早期発見するためにも非常に有効なデータとなります。パフォーマンステストを通じ、基礎体力の向上が競技力の向上につながることを選手が認識し、自身の競技に活かしてほしいと思います。

### 第2弾 指導者研修～令和4年11月23日（水）開催～

パフォーマンステストで浮き彫りとなった課題は、本プロジェクトの第2弾となる「指導者研修」で指導者と各競技団体強化担当者が共有し、今後の指導の手がかりとなりました。研修には、17競技30名の指導者が一堂に会し、学びを深めました。パフォーマンステストの結果をもとに講義をくださった広瀬統一講師は、秋田県選手と全国トップクラスの選手の測定データを提示しながら、優先して行うべきトレーニングについて説明しました。また、「練習と大会で起きたことのリフレクションが重要で、そのプロセスが結んでいるかを選手に認識させることも指導者の役割である。」とアドバイスされました。さらに、「自競技の選手強化に向けた垂直型の志向も大事だが、他競技の手法や知見をシェアする水平型の志向もしっかりと持ってほしい。」と強調し、参加した指導者は他競技の指導者との情報交換を積極的に行いました。



分析結果を講義する広瀬講師



他競技の指導者との情報交換



トレーニング指導時のポイントも解説



今後の運動部活動について解説する友添講師

また、午後からは友添秀則講師（公益財団法人日本学校体育研究連合会会長）から「部活動の地域移行をめぐる～これからの地域と指導者のあり方を考える～」と題して、講義をしていただきました。友添講師は、「運動部活動の地域移行は、今やらなければ手遅れになる。」と強調し、持続可能な運営体制や実践例について説明されました。また、スポーツインテグリティの観点にも触れながら、「ジュニアアスリートにとって人生観や社会観、努力の尊さは指導者から学ぶ場面が多い。」とし、「指導者はジュニアアスリートのモデルとなることを忘れず関わってほしい。」とエールを送りました。さらに、昨今のスポーツ界において見受けられる勝利至上主義がもたらす弊害にも触れ、選手とのインフォームドコンセントを優先した「勝利追求主義」への転換も唱えました。参加者からは、「現状の把握と今後の取り組みを考える良いきっかけとなった。」「具体的な情報があり、地域移行に対する不安が解消された。」などと、喜びの声が多くありました。



# 『2022アスリート支援・企業セミナー』開催報告

ハイブリッド形式(ホテル参加 + オンライン参加)

アスリート支援事業開始7年目のセミナーはハイブリッド形式での開催となりました。昨年度からZoomでのオンライン参加を併用で開催しており、社会的にも会議・イベント等で一般化してきてます。オンラインならではの利点から県北及び県南エリアからの参加企業も増えてきました。また県外からは大学関係者・学生・などの参加もあり、更にQ&Aのやりとりで、ハイブリッド形式開催の多様性の手ごたえが感じられました。また今後の参加者の拡大及び内容の充実化に向けた試みができたセミナーでもありました。

## 《2022 アスリート支援・企業セミナー》

令和4年11月17日(木) 13:00~15:00 於：ホテルメトロポリタン秋田

主催 秋田県・(公財)秋田県スポーツ協会

### 主催者挨拶

秋田県観光文化スポーツ部 スポーツ振興課 課長 米田 裕之  
公益財団法人秋田県スポーツ協会 会長 鶴田 有司

### 第一部 アスリート競技活動サポート事業について

- ◇事業内容の紹介(事業説明・事業適用選手の紹介) YouTube動画
- ◇3選手にフォーカス

- ・三島 廉 選手(カヌー) 東京都出身 2020.4.1 入社 登壇  
所属 万六建設株式会社 仙北市田沢湖  
同席者 取締役 総務部室長 田中 隆裕
- ・安部 慶輝 選手(フェンシング) 秋田県出身 2019.4.1 入社  
所属 医療法人久盛会 秋田緑ヶ丘病院 秋田市
- ・岡本 乃絵 選手(アルペン) 北海道出身 2018.7.18 入社  
所属 有限会社鶴の湯温泉 仙北市田沢湖

### 第二部 仕事と競技の両立事例紹介

- ・後藤 瑞貴 選手(陸上110mH) 秋田県出身 2022.4.1 入社 登壇  
所属 秋田DNライティング株式会社 湯上市  
同席者 総務人事チーム 小熊 圭子
- ・大島 璃来 選手(女子ラグビー) 秋田県出身 2021.4.1 入社 登壇  
所属 伊藤工業株式会社 秋田市  
同席者 社長室長 伊藤 勇氣

### 第三部 就職支援連携先の紹介(秋田県未来創造部 移住定住促進課 主査 松田 知江美)

- ・若者移住定住促進事業
- ・あきた学生就活サポーター(秋田県東京事務所)

県スポーツ振興課 課長 米田裕之



県スポーツ協会 会長 鶴田有司



会場風景



■事業の問い合わせ \*\*\*\*\*  
 「秋田トップアスリート無料職業紹介所」公益財団法人秋田県スポーツ協会 スポーツ推進課内  
 Tel 018-864-8094 Fax 018-864-5752 担当：アスリート就職推進アドバイザー 佐々木功  
 HP [http:// www .akitaiky.or.jp./job/](http://www.akitaiky.or.jp./job/) Facebook 「アスサポアキタ」



【第1部】【第2部】の内容

第一部 アスリートサポート事業について

◇事業内容の紹介と経緯（サポート事業内容&制度・事業適用選手&企業等）YouTube 動画



◇活躍中の3選手をフォーカス紹介

●三島廉選手（カヌー）× 万六建設株式会社 ※登壇でパリへの思いを熱く！



●安部慶輝選手（フェンシング）× 医療法人久盛会 秋田緑ヶ丘病院 ※ドイツから帰国 オンラインでパリへの思い！



●岡本乃絵選手（アルペン）× 有限会社鶴の湯温泉 ※欧州遠征中 インタビュー動画で競技の振り返り！



第二部 仕事と競技の両立事例の紹介

◇日常的に仕事と競技の両立している二人の選手を紹介

●後藤瑞貴選手（110mH）× 秋田DNライティング株式会社 ※夢は世界陸上 2025 東京！



●大島璃来選手（女子ラグビー）× 伊藤工業株式会社 ※女子ラグビーの普及と女性の活躍推進！



詳しくはYouTubeの秋田県スポーツ協会チャンネルをご覧ください。



## 総合型地域スポーツクラブ

～予備登録認定クラブ(秋田県)～

公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会予備登録認定クラブ

登録認定日 [2022年11月1日付]

秋田県一覧表 (登録有効期間: 令和4年11月1日～令和6年3月31日まで)

| No. | 登録クラブ名                      | 市町村   | 代表者  |       | 設立年  |
|-----|-----------------------------|-------|------|-------|------|
| 1   | 大曲スポーツクラブ                   | 大仙市   | 理事長  | 藤原 聖一 | 2008 |
| 2   | 西仙北スポーツクラブ                  | 大仙市   | 会長   | 今野 幸宏 | 2014 |
| 3   | かみこあに総合型クラブスマイル             | 上小阿仁村 | 会長   | 鈴木 喜彦 | 2007 |
| 4   | 神代スポーツクラブ                   | 仙北市   | 会長   | 安藤 武  | 2015 |
| 5   | 特定非営利活動法人スポカルきみまち           | 能代市   | 理事長  | 藤田 弘子 | 2013 |
| 6   | NPO 法人 Athletic Club GROWTH | 男鹿市   | 理事長  | 仲塚 輝美 | 2014 |
| 7   | SPORTS・POPORO               | 由利本荘市 | 会長   | 伊藤弥市郎 | 2008 |
| 8   | NPO 法人ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク   | 秋田市   | 理事長  | 岩瀬 浩介 | 2021 |
| 9   | 特定非営利活動法人 BS スポーツクラブにかほ     | にかほ市  | 理事長  | 柴田鐵四郎 | 2010 |
| 10  | 修武館土崎スポーツクラブ                | 秋田市   | 会長   | 藤岡 政春 | 2011 |
| 11  | みなせスポーツ・文化クラブ「楽日人」          | 湯沢市   | 会長   | 黒澤 寛  | 2004 |
| 12  | チャレンジスポーツクラブいなかわ            | 湯沢市   | 会長   | 村上 聖子 | 2005 |
| 13  | 男鹿市総合型地域スポーツクラブ             | 男鹿市   | 会長   | 板橋 征男 | 2008 |
| 14  | 特定非営利活動法人大森スポーツクラブさくら       | 横手市   | 理事長  | 渡部 卓  | 2010 |
| 15  | スポーツクラブのしろ                  | 能代市   | 委員長  | 土崎 博之 | 2015 |
| 16  | 美郷町総合型スポーツクラブ               | 美郷町   | 会長   | 中村 立夫 | 2010 |
| 17  | NPO 法人総合型地域スポーツクラブスポルティフ秋田  | 秋田市   | 理事長  | 佐藤 勇一 | 2005 |
| 18  | NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド        | 湯沢市   | 理事長  | 藤原 寛文 | 2005 |
| 19  | 特定非営利活動法人スポーツクラブあきた         | 秋田市   | 代表理事 | 渡辺 英直 | 2002 |
| 20  | 特定非営利活動法人ゆざわサンマリッツスポーツクラブ   | 湯沢市   | 理事長  | 高橋 栄  | 1994 |
| 21  | 琴丘地域スポーツクラブ連盟               | 三種町   | 会長   | 杉山 俊一 | 1996 |
| 22  | あいあいクラブたかのす                 | 北秋田市  | 会長   | 佐々木一志 | 2007 |

令和4年4月1日から登録・認証制度の運用がスタートいたしました。令和4年8月1日に行われた申請クラブから提出された規定の書類を登録審査委員会（形式審査）で審査し、合格した22クラブが全国協議会において認定クラブとなり登録クラブとなりました。今回は形式審査で予備登録（正式な登録内容と同じ扱いです。）という名称ですが、令和6年度からは、年度毎の登録となり本格的な登録・認証制度になります。（令和6年度からの登録のための申請提出作業は令和5年9月から始まります。）

## 令和4年度秋田県スポーツ少年団市町村本部長会議

- 期 日 9月14日(水)
- 会 場 秋田県スポーツ科学センター
- 参加者 40名

秋田県スポーツ少年団は9月14日、県内25市町村のスポーツ少年団本部長等を集め、「運動部活動の地域移行」をテーマに「市町村本部長会議」を開きました。

今年度上半期のスポーツ関連のニュースで大きな議論を呼んだのは、「公立中学校の休日の運動部活動を学校から地域社会に段階的に移行させる」としたスポーツ庁有識者会議の提言でした。

提言では、令和5年度からの3年間を「改革集中期間」と位置づけ、まずは休日の活動から移行させるとしていますが、地域の受け皿不足や財源、保護者の経費負担等を心配する声は多く上がっています。

そこで今回は、提言の趣旨や目指す方向性等の理解を深めるため、スポーツ庁地域スポーツ課の橋田裕（ひろし）課長からオンラインで特別講演を行っていただきました。

橋田課長は平成21年から3年間、県教育庁保健体育課長、義務教育課長を歴任され、本県の学校事情やスポーツ事情に精通しています。

橋田課長は講演で、公立中学校の運動部活動を地域スポーツ団体や民間事業者に委ねる地域移行については、「地域の実情に応じて丁寧に進める」、「平日の移行については、改革集中期間の3年間の取組を検証してから検討する」との姿勢を示しました。

また、地域移行の目指す姿として、持続可能なスポーツ環境を一体的に整備しつつ、子どもたちの多様な体験機会を確保することや、学校の働き方改革を推進し、教育の質を向上させることなどを強調しました。

さらに、予想される様々な課題に対応するため、国の来年度予算の概算要求に、関係者間の連絡・調整を担うコーディネーターを自治体に配置したり、指導者確保のため人材バンクを設置したりして体制整備を進める経費約102億円を盛り込んだことも説明しました。

講演後の質疑応答では、中体連主催の大会に地域単位で出られるようになれば、好選手を寄せ集めて目先の勝利を優先するチームが現れることを懸念する声が上がりましたが、それに対して橋田課長は「中体連と連携・協力し、子どもたちにとってスポーツの『最適化』をどう図るかを重視していきたい」と述べました。

今後県内の各市町村では、地域移行に係る「協議会」を立ち上げ、関係団体を交えながら具体的な検討に入るとしています。

今回の講演をきっかけとして、スポーツ少年団がどのような関わり方をすればよいかを考える一助になってくれればと願っています。



橋田課長の講演に熱心に耳を傾ける参加者



## オフィシャルサポーター

※ 9月以降



秋田市山王3丁目2-1  
株式会社秋田銀行

## 賛助会員

※ 9月以降（敬称略）

株式会社八森運輸

## 県内スポーツの主なできごと

### 9月

- 3日 全国高等専門学校体育大会 競泳男子800m自由形で三浦幸太郎（秋田）が優勝
- 11日 ボートの全日本大学選手権 女子ダブルスカルで早稲田大学が優勝し、茂内さくら（秋田高出身）が貢献
- 18日 競泳のジャパンパラ大会100m自由形で菅原紘汰（秋田きらり支援学校出身）が優勝。50mバタフライと50m背泳ぎで3位

### 10月

- 20日 プロ野球ドラフト会議で曾谷龍平（明桜高出身）がオリックスバファローズから1位指名を受け、同じく杉澤龍（小坂町出身）が4位指名。山浅龍之介（由利本荘市出身）が中日ドラゴンズから4位指名を受けた
- 25日 ブラウブリッツ秋田は吉田謙監督の続投を発表した
- 30日 中嶋聡監督（旧鷹巣農林高出身）率いるオリックスバファローズが26年ぶり5度目の日本一に輝いた  
バドミントンのフランス・オープン女子ダブルスで永原和可那・松本麻佑組（北都銀行）が準優勝

### 11月

- 3日 中学、高校の強化選手を対象とした「パフォーマンステスト」を開催
- 4日 明治神宮奉納全国弓道大会で称号受有者の部（射詰め）で小松原茂雄（秋田市）が優勝
- 12日 パラ競泳の日本選手権男子50m背泳ぎで菅原紘汰（秋田きらり支援学校出身）が2位。同バタフライで3位

## 令和4年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠におめでとうございます。  
今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

|                       |        |                |
|-----------------------|--------|----------------|
| 秋田県綱引連盟創立40周年記念式典・祝賀会 | 7月9日   | パーティーギャラリーイヤタカ |
| 秋田県剣道連盟創立70周年記念式典     | 11月12日 | 秋田県立武道館        |

### 学校名の誤記のお詫びと訂正について

「スポーツ秋田」第202号（令和4年10月1日発行）7ページの令和4年度全国中学校体育大会B決勝入賞一覧の学校名に誤りがありました。

誤) 細谷 善 (協和中③)  
正) 細谷 善 (平鹿中③)

関係者の皆様ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。





## 秋田県スポーツ協会創立100周年記念事業について

秋田県スポーツ協会は、2023年（令和5年）に創立100周年を迎えます。

新たな次の100年に向けて我々が果たすべき役割と使命を広くアピールするため、創立100周年記念として、様々な事業を計画しています。

### ○主旨・目的

- 本県のスポーツ振興と競技力向上に果たしてきた100年の足跡をたどる。
- 新たな100年に向けて、県内外の動向に対応しつつ「すべての県民がスポーツを通じて、健康で豊かな生活を営むことができる元気な秋田」を目指し、秋田県スポーツ協会が果たす役割と使命をアピールする。
- 秋田県スポーツ協会に対しご支援ご協力いただいている多くの関係者とともに、100周年の慶事を祝う。

### ○100周年記念事業スローガン

## 「次の100年に向けて」

### ○100周年記念ロゴマーク



### ○記念事業の内容

- 祝賀式典の開催（レセプション含む）
- シンポジウムの開催
- 秋田県スポーツ協会ロゴマークの作製
- 創立100周年記念ロゴマークの作製
- 創立100周年記念看板の設置
- 記念史（DVD含む）の発刊
- 日中成人スポーツ交流の開催

期 日 令和5年5月21日（日）

会 場 あきた芸術劇場ミルハス、秋田キャッスルホテル

第1部「シンポジウム」13:00～14:30（会場：あきた芸術劇場ミルハス）

第2部「式典」15:00～16:30（会場：あきた芸術劇場ミルハス）

第3部「レセプション」17:30～19:00（会場：秋田キャッスルホテル）

時間は今後変更になる可能性がございます。

随時、本会HP（<http://akitaikyo.or.jp/>）に掲載しますのでご確認ください。

編集  
後記

いちご一会とちぎ国体における本県選手団は、天皇杯31位・皇后杯37位と、前回の成績を上回ることが出来ました。今後も更なる向上をめざして各種強化事業を推進していきます。一層のご支援をよろしくお願いいたします。本誌の発行にあたり、御多用中の折、取材・原稿執筆、写真の提供など御協力くださいました皆様、ありがとうございました。



想像から創造へ  
あらゆるニーズにお応えする

株式会社 松原印刷社  
(印刷・製本)

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29  
TEL 018-862-8760 FAX 018-863-0005  
URL <http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

Official Partner



秋田いすゞ自動車株式会社

地球を舞台とした事業活動を通じて、  
豊かな社会の創造と資源循環型社会の構築に貢献します。

**DOWA**

秋田県内 DOWAグループ

厚生ビル管理株式会社  
株式会社 光風舎

〒010-0911 秋田市保戸野すわ町6番16号

TEL : 018-823-4061 (厚生ビル管理)

TEL : 018-896-4115 (光風舎)

<http://www.kosei-buil.co.jp>

<http://www.kofuu.co.jp>

ドキュメント共有を支援するクラウドサービス

どこからでもアクセス可能、テレワークの推進を支援



クラウド上でドキュメントを共有し情報漏えいリスクを軽減。  
業務効率化をご支援いたします。

**富士フイルム BI 秋田株式会社**

秋田市川尻町字大川反170-92 TEL018-823-4645



3位までフルネームで掲載  
記録、プレー写真 随時受付中!

sports-kirokuyo@sakigake.jpまで

秋田新報

社会と共に未来へ歩む  
ALWAYS CHALLENGE



**YOKOUN**

ヨコウン株式会社

☎013-0072 秋田県横手市卸町8番14号 ☎0182-32-3667 FAX32-5672



Official Supporter

コマツ秋田株式会社  
佐田建設工業有限会社  
山二建設資材株式会社  
秋田信用金庫

明治安田生命保険相互会社秋田支社  
花岡土建株式会社  
株式会社秋田銀行



輝きを 汗に 瞳に このまちに  
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 … に

ア リ ナ 宿 泊 室  
ト レ ー ニ ン グ ル ー ム ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム  
温 水 プ ー ル 室 温 泉 浴 場  
研 修 室



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1  
JR能代駅から車で10分  
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322

秋田のアスリートたちを応援しています

駄菓子・クジ・縁日グッズ  
お菓子の袋詰

問屋

しもむら

駄菓子のしもむら 検索

☎018-832-6766

株式会社松 田

株式会湯沢生コン  
地域の発展とともに  
松田グループ 株式会社丸栄建設  
株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 洸 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号  
TEL 0186-49-0280  
FAX 0186-43-0002

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・  
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

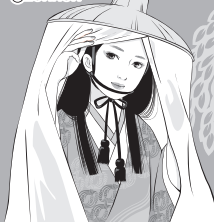
税理士法人  
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一  
税理士 菅 谷 浩

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022  
菅谷会計 / 秋田市土崎港東二丁目16番24号 Tel.018-845-5648

美人を育てる秋田米

©zenoh



「あきたecorais」とは  
使用農薬成分回数を半分以下に抑えたお米です。

JAグループ秋田・JA全農あきた

株式会社 M・S・C 「M's スポーツクラブ」



1号店：土崎教室



2号店：御所野教室



3号店：宇石教室



4号店：K-POP ダンス教室

TEL:070-5325-2412 FAX:018-828-3309 Mail:mspclub@yahoo.co.jp

☆☆2歳から80歳代までの体操教室！大人の健康運動クラスやアクロバットクラスも大人気☆☆

テーマ【体験・経験・発見】 バク転を体験して難しい技を経験して新しい発見を見つけないか???

合宿するなら ナイスアリーナへ！

ナイスアリーナで  
合宿してみませんか。  
施設内には合宿棟も  
あります！



由利本荘総合防災公園 ナイスアリーナ

〒015-0013

秋田県由利本荘市石脇字田尻野18番地

(国道7号線沿い ハローワーク本荘様向い)

TEL:0184-22-0001

FAX:0184-25-7080

HP: https://shisetsu.mizuno.jp/m-7619

[引受幹事保険会社]  
東京海上日動火災保険株式会社

[共同引受保険会社(2022年4月予定)]  
あいおいニッセイ同和/共栄火災/損保ジャパン/  
大同火災/東京海上日動/日新火災/  
三井住友海上/AIG損保

小さな掛金、  
大きな補償、

# スポーツ安全保険<sup>®</sup>

文化活動やボランティア活動等もご加入できます

スポあんネット



加入手続きは  
インターネットから!!

LINE 公式アカウント



友だち募集中!

保険の詳細内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。  
<https://www.sportsanzen.org>

スポーツ安全保険

検索



 公益財団法人 スポーツ安全協会

編集発行 公益財団法人 秋田県スポーツ協会 TEL 018(864)8090 編集発行人 専務理事 齊藤 譲